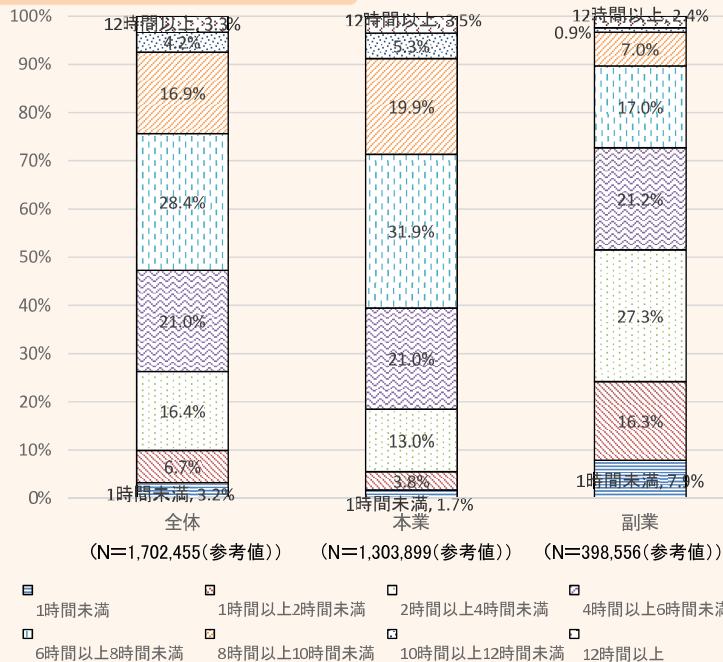


仕事に携わった時間

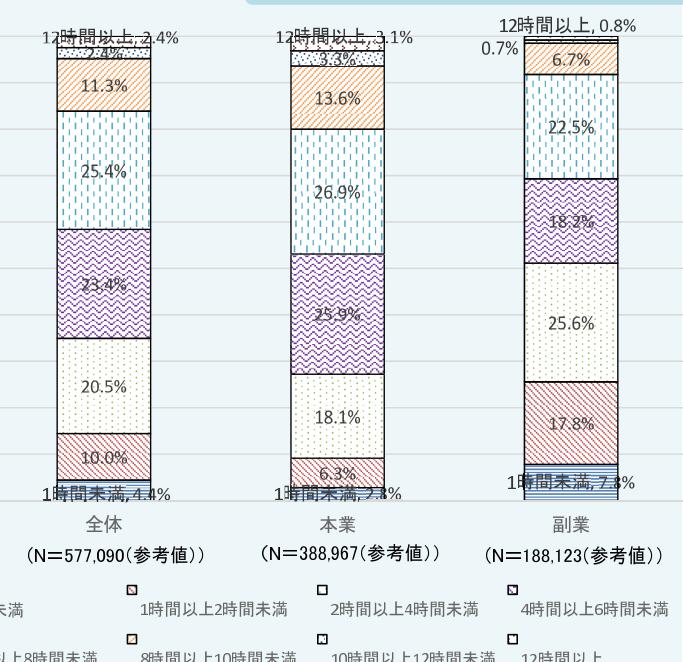
- 主に「事業者」を直接の取引先としている者の業務請負等の仕事に携わった1日当たりの平均時間について、「本業」では「6時間以上8時間未満」(31.9%)が最も高く、次いで、「4時間以上6時間未満」(21.0%)、「8時間以上10時間未満」(19.9%)の順に割合が高いが、「副業」では「2時間以上4時間未満」(27.3%)が最も高く、4時間未満の回答の割合を合計すると5割を超える。
- 主に「一般消費者」を直接の取引先としている者の業務請負等の仕事に携わった1日当たりの平均時間について、「本業」では「6時間以上8時間未満」(26.9%)が最も高く、次いで、「4時間以上6時間未満」(25.9%)、「2時間以上4時間未満」(18.1%)の順に割合が高いが、「副業」では「2時間以上4時間未満」(25.6%)が最も高く、4時間未満の回答の割合を合計すると5割を超える。

業務請負等の仕事に携わった1日当たりの平均時間

主に「事業者」を直接の取引先



主に「一般消費者」を直接の取引先



(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

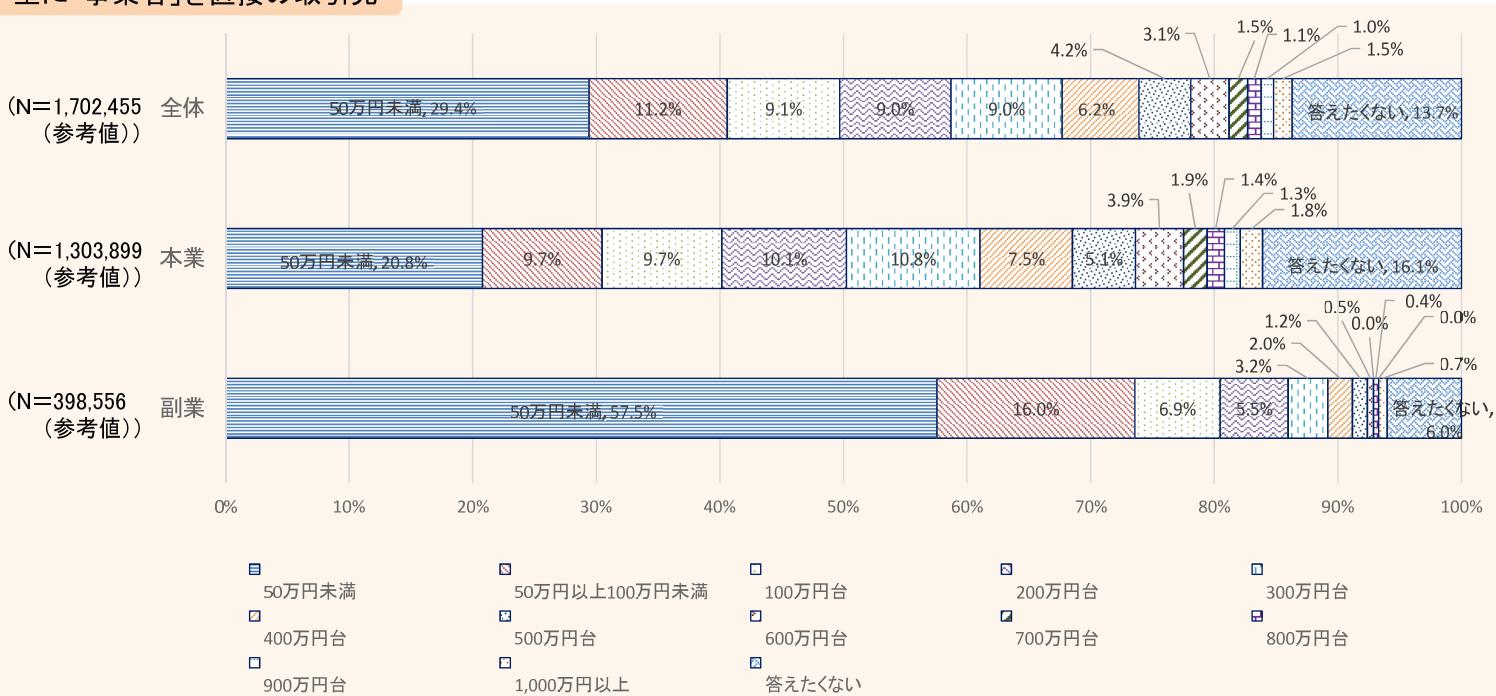
14

業務請負等の仕事の平均年収①

- 主に「事業者」を直接の取引先とする者の業務請負等の仕事の平均年収(税込)について、全体でみると、「50万円未満」(29.4%)が最も高く、次いで「答えたくない」(13.7%)、「50万円以上100万円未満」(11.2%)の順に割合が高い。
- 就業形態別にみると、「本業」では「50万円未満」(20.8%)が最も高く、次いで「答えたくない」(16.1%)、「300万円台」(10.8%)の順に割合が高い。一方「副業」では、「50万円未満」(57.5%)が最も高く、6割弱を占めている。

主に「事業者」を直接の取引先

業務請負等の仕事の平均年収(税込)



※ここで年収は、事業としての収入(売上高)ではなく、必要な経費等を差し引いた、自身の所得になる額(社会保険料を含めた税込みの額面)の概算をいう。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

15

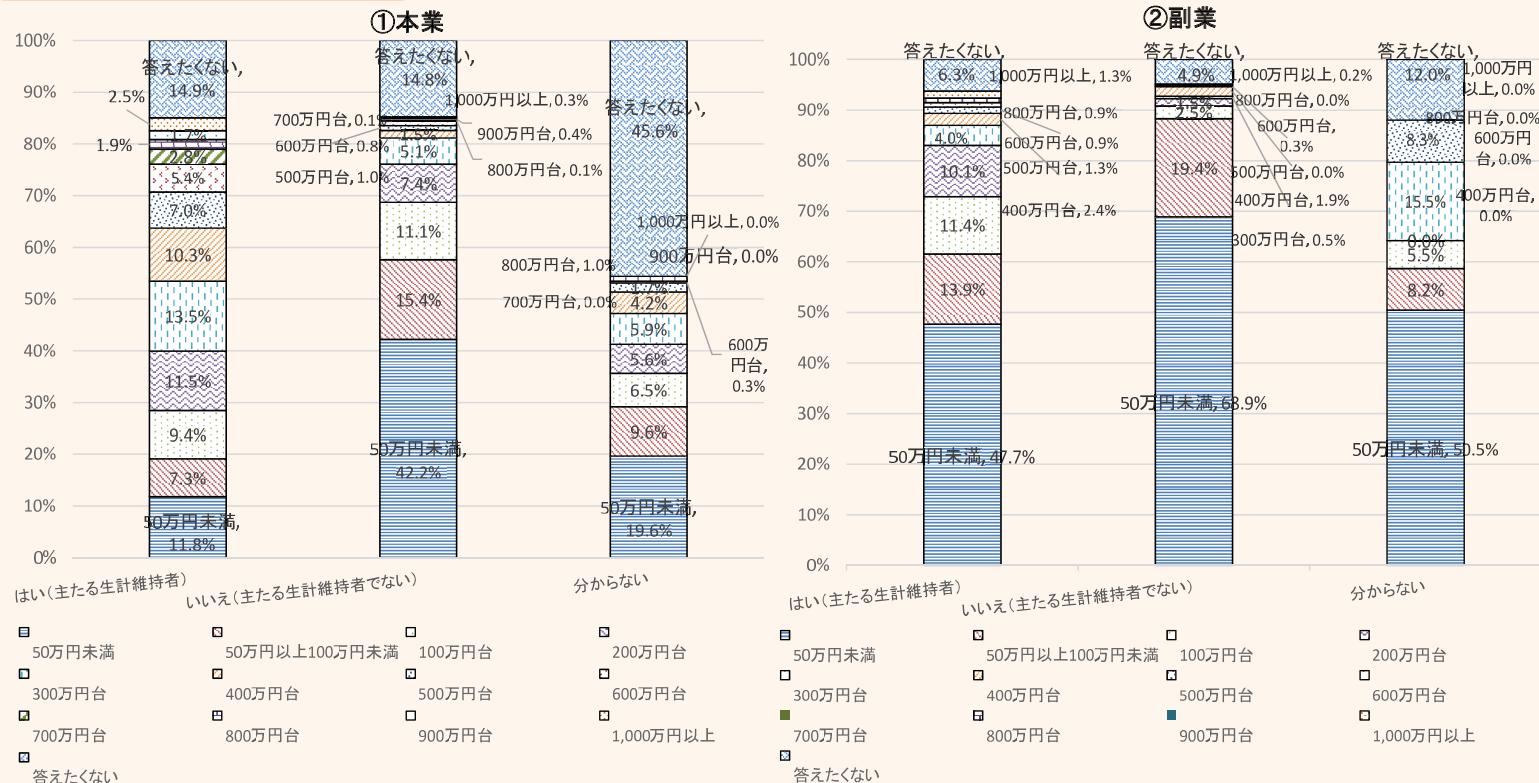
21

業務請負等の仕事の平均年収②

- 「本業」でみると、主たる生計維持者である者の業務請負等の仕事の平均年収(税込)は、「答えたくない」を除くと、「300万円台」(13.5%)が最も高く、次いで「50万円未満」(11.8%)、「200万円台」(11.5%)の順に割合が高い。一方、主たる生計維持者でない者については、「50万円未満」(42.2%)が最も高くなっている。
- 「副業」でみると、いずれも「50万円未満」が最も高くなっている。

主に「事業者」を直接の取引先

業務請負等の仕事の平均年収×主たる生計維持者か



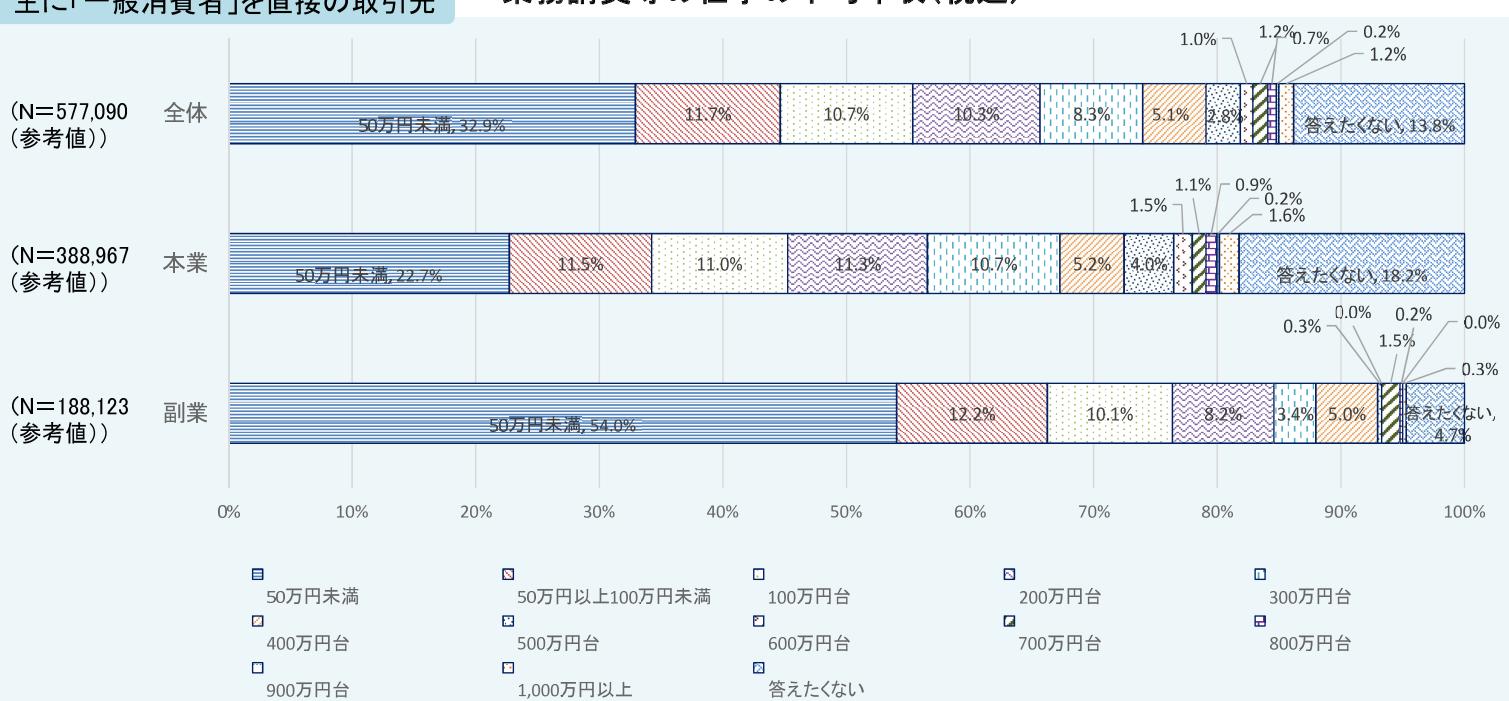
16

業務請負等の仕事の平均年収③

- 主に「一般消費者」を直接の取引先とする者の業務請負等の仕事の平均年収(税込)について、全体と「本業」では、「50万円未満」(32.9%/22.7%)が最も高く、次いで「答えたくない」(13.8%/18.2%)、「50万円以上100万円未満」(11.7%/11.5%)の順に割合が高い。
- 一方「副業」では「50万円未満」(54.0%)が最も高く、5割強を占めている。

主に「一般消費者」を直接の取引先

業務請負等の仕事の平均年収(税込)



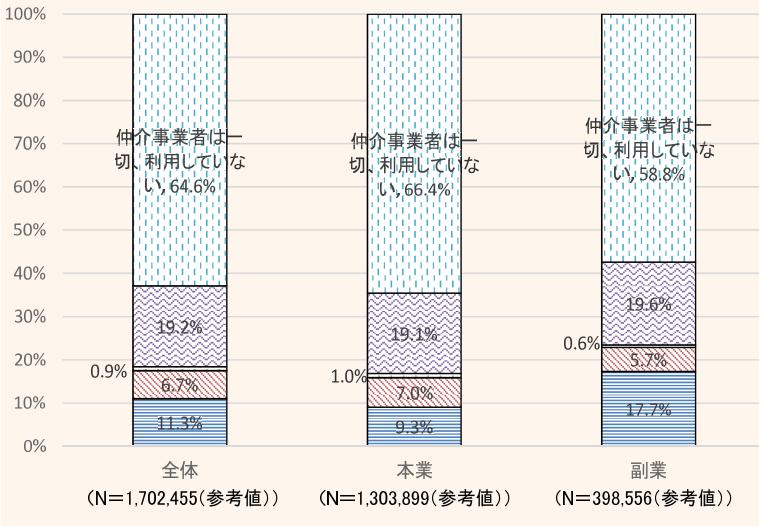
17

仲介事業者の利用状況①

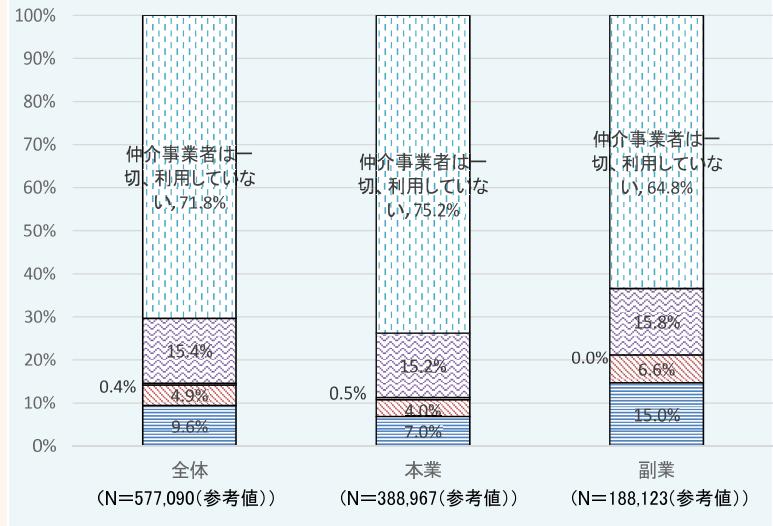
- 業務の受注に当たっての仲介事業者の利用状況(複数回答)について、全体的に、主に「一般消費者」と直接取引をしている者より、主に「事業者」と直接取引をしている者の方が、何らかの仲介事業者を利用している者の割合が高い。
- 双方とも、「副業」については、「本業」より、「クラウドソーシングなどを利用している」の回答の割合が高い。

業務の受注に当たっての仲介事業者の利用状況(複数回答)

主に「事業者」を直接の取引先



主に「一般消費者」を直接の取引先



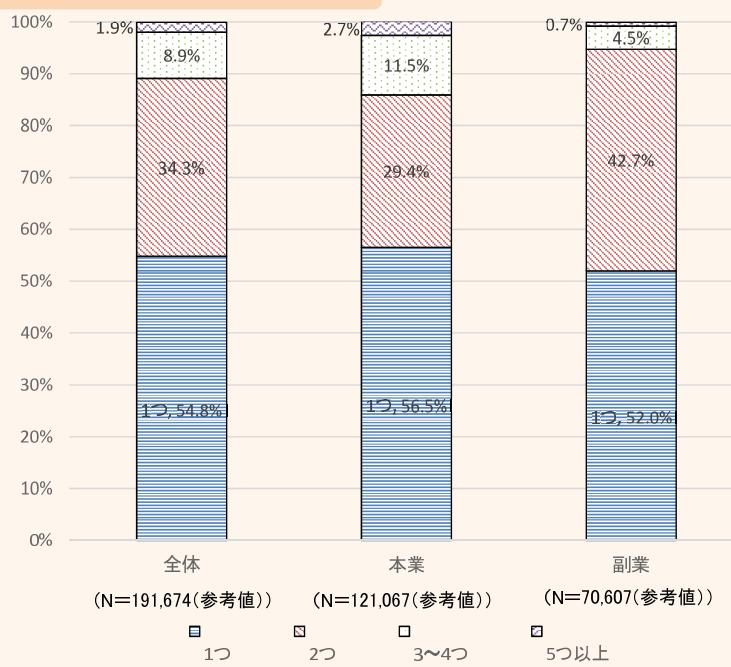
※ここでの「クラウドソーシングなど」については「インターネットを介して、仕事の注文者と受注者が直接、受発注を行うことができるサービス」を指すものとする。なお、オンライン上で成果物の納品等が行われる形態のほか、食品配達サービス等のように、受発注のみオンライン上で行い、サービスの提供自体は対面や本人自身で行われる形態(オフライン上で行われる形態)についても含むものとする。
(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

仲介事業者の利用状況②

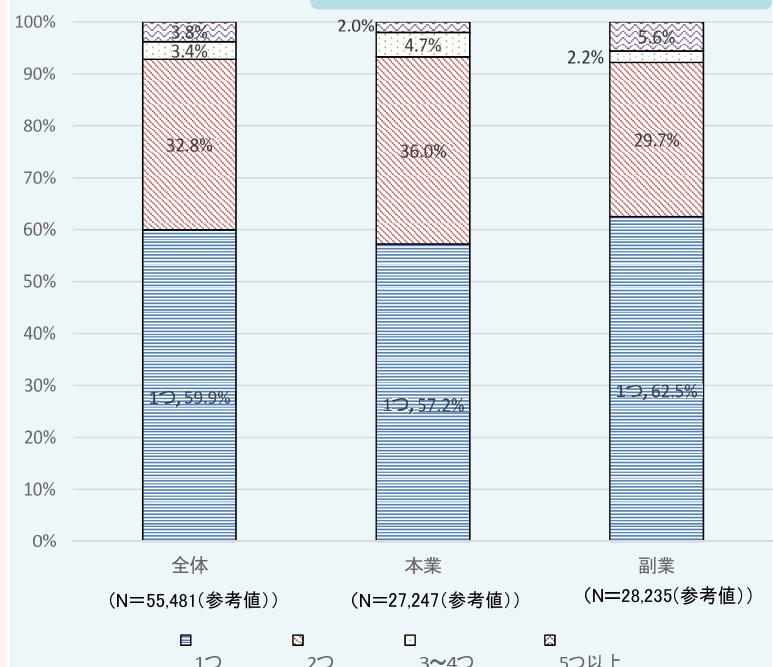
- 定期的に利用している「クラウドソーシングなど」の数について、主に「事業者」を直接の取引先としている者、主に「一般消費者」を直接の取引先としている者ともに全体、就業形態別のいずれも、「1つ」が最も高く、次いで、「2つ」の割合が高く、両者を合計すると、いずれも約9割。

定期的に利用している「クラウドソーシングなど」の数

主に「事業者」を直接の取引先



主に「一般消費者」を直接の取引先



※「仲介事業者の利用状況①」において「クラウドソーシングなどを利用している」と回答した者を対象とする。

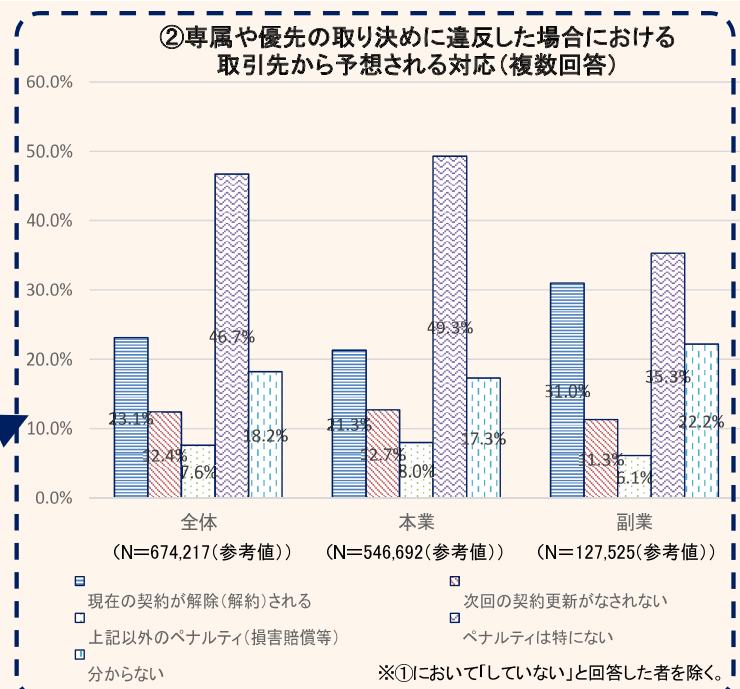
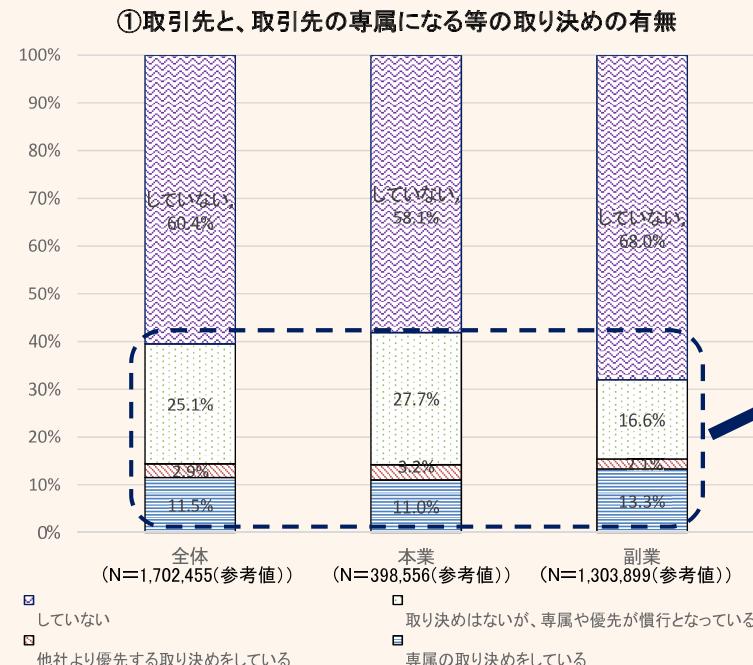
※ここでの「クラウドソーシングなど」については「インターネットを介して、仕事の注文者と受注者が直接、受発注を行うことができるサービス」を指すものとする。なお、オンライン上で成果物の納品等が行われる形態のほか、食品配達サービス等のように、受発注のみオンライン上で行い、サービスの提供自体は対面や本人自身で行われる形態(オフライン上で行われる形態)についても含むものとする。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

取引先との専属性

- 取引先と、取引先の専属になる、または取引先を他社より優先する等の取り決めの有無について、全体、就業形態別とともに、「していない」(全体:60.4%／本業:58.1%／副業:68.0%)が最も高く、次いで、「取り決めはないが、専属や優先が慣行となっている」(全体:25.1%／本業:27.7%／副業:16.6%)の割合が高い。
- 専属や優先の取り決めに違反した場合における取引先から予想される対応について、全体、就業形態別とともに、「ペナルティは特にならない」(全体:46.7%／本業:49.3%／副業:35.3%)が最も高く、次いで、「現在の契約が解除(解約)される」(全体:23.1%／本業:21.3%／副業:31.0%)の割合が高い。

主に「事業者」を直接の取引先



(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

20

取引先での従業員経験

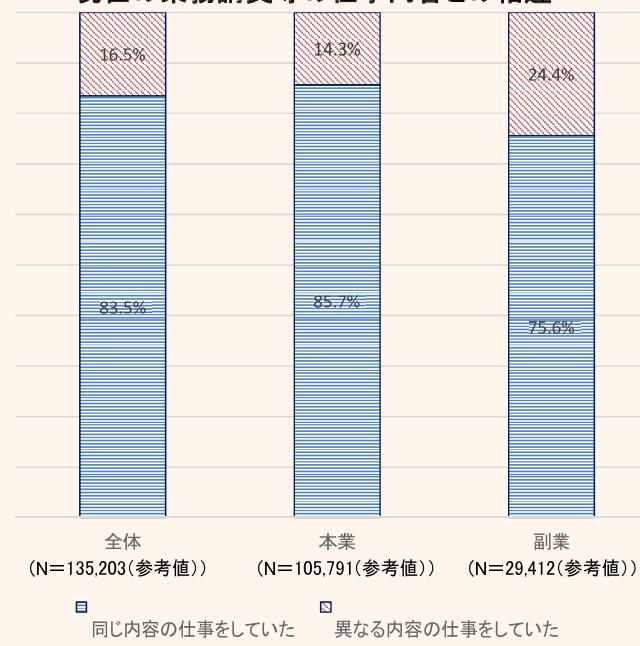
- 取引先での従業員経験(もともと取引先の従業員だったか)について、全体、就業形態別とともに、「いいえ」(全体:92.1%／本業:91.9%／副業:92.6%)が約9割となっている。
- 取引先の従業員だった当時の仕事内容と現在の業務請負等の仕事内容との相違について、全体、就業形態別とともに、「同じ内容の仕事をしていた」(全体:83.5%／本業:85.7%／副業:75.6%)が約8割となっている。

主に「事業者」を直接の取引先

①取引先での従業員経験



②取引先の従業員だった当時の仕事内容と現在の業務請負等の仕事内容との相違



※①において「はい」と回答した者を対象とする。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

24

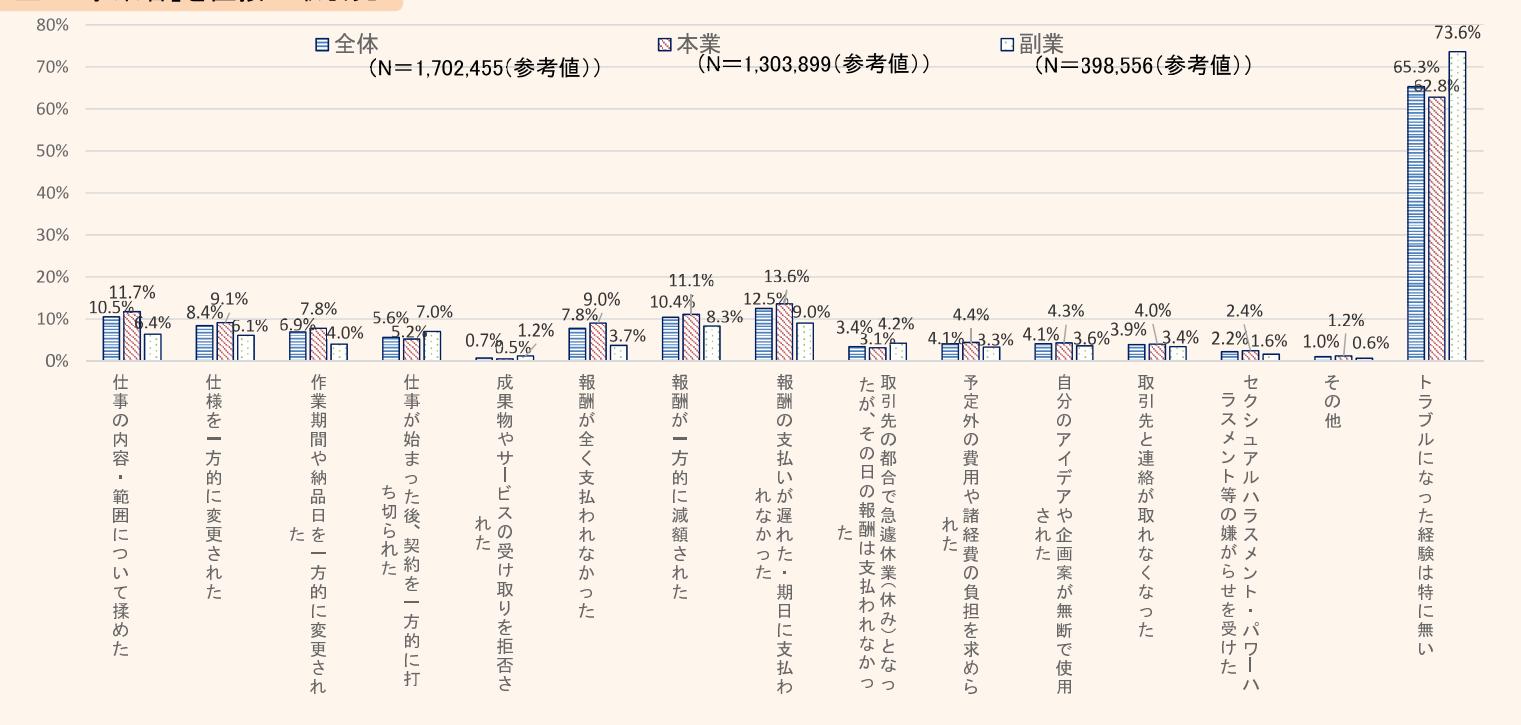
21

トラブル①

- 主に「事業者」を直接の取引先とする者の取引先とのトラブルについて、全体、就業形態別ともに、「トラブルになった経験は特に無い」(全体:65.3%／本業:62.8%／副業:73.6%)が最も高い。
- 経験したトラブル(複数回答)の中では、全体、就業形態別ともに、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」(全体:12.5%／本業:13.6%／副業:9.0%)が最も高い。次いで「全体」と「本業」では、「仕事の内容・範囲について揉めた」(全体:10.5%／本業:11.7%)の割合が高く、「副業」では「報酬が一方的に減額された」(8.3%)の割合が高い。

主に「事業者」を直接の取引先

トラブルになった経験(事柄)(複数回答)



(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

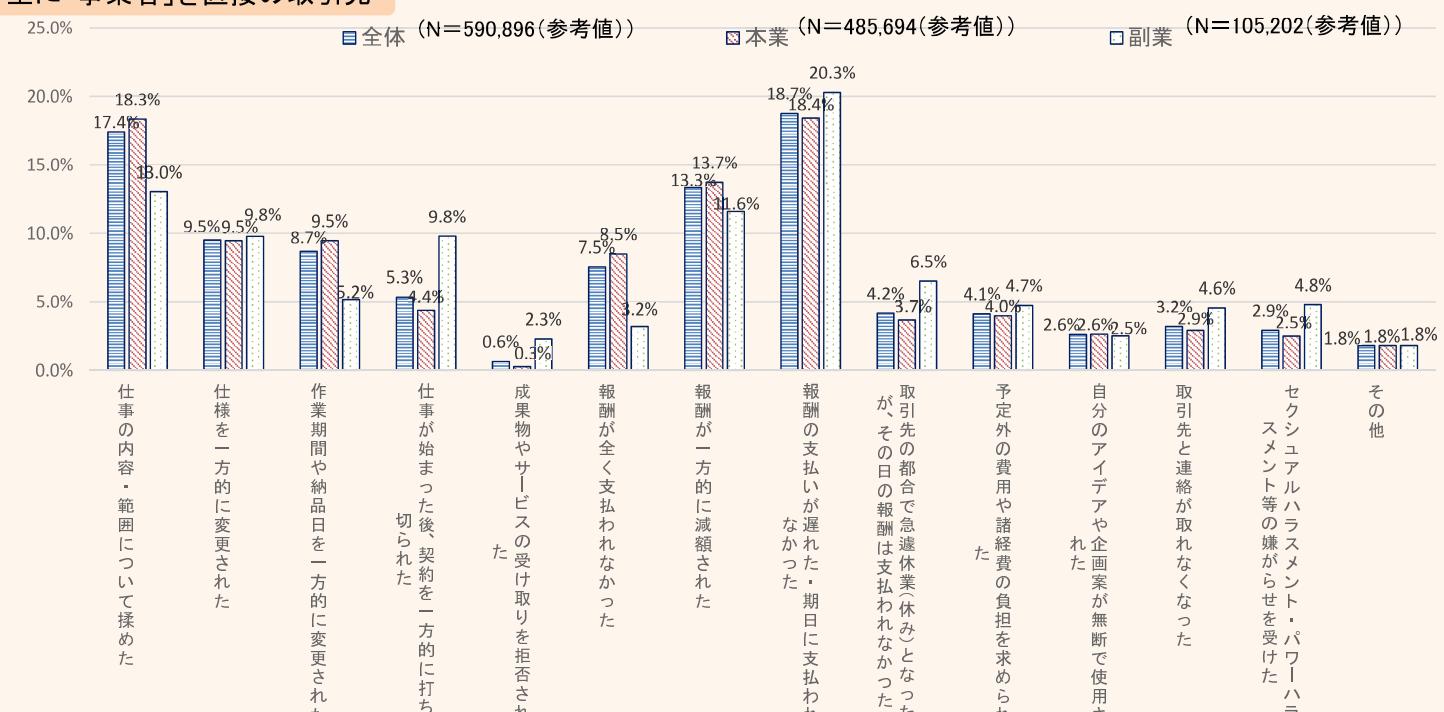
22

トラブル②

- 主に「事業者」を直接の取引先とする者のうち、トラブルを経験した者が取引先との間で最もよくあったトラブルについて、全体、就業形態別ともに、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」(全体:18.7%／本業:18.4%／副業:20.3%)が最も高く、次いで、「仕事の内容・範囲について揉めた」(全体:17.4%／本業:18.3%／副業:13.0%)、「報酬が一方的に減額された」(全体:13.3%／本業:13.7%／副業:11.6%)の順に割合が高い。

経験のあったトラブルの中で最もよくあったトラブル(単数回答)

主に「事業者」を直接の取引先



※「トラブル①」で「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

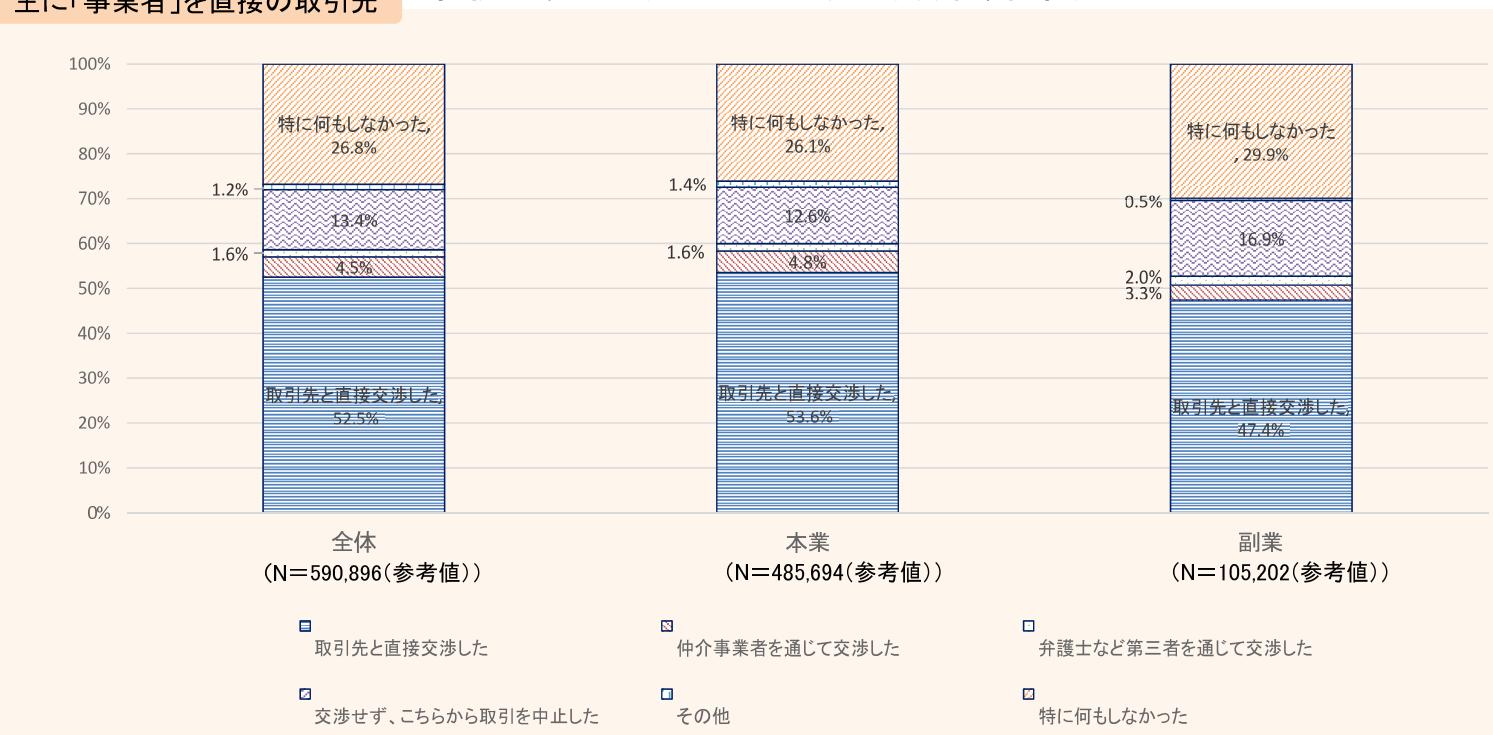
23

トラブル③

- 主に「事業者」を直接の取引先とする者の取引先との間のトラブルへの対処法として最も多かったケースについて、全体、就業形態別ともに、「取引先と直接交渉した」(全体: 52.5% / 本業: 53.6% / 副業: 47.4%)が最も高く、次いで、「特に何もしなかった」(全体: 26.8% / 本業: 26.1% / 副業: 29.9%)、「交渉せず、こちらから取引を中止した」(全体: 13.4% / 本業: 12.6% / 副業: 16.9%)の順に割合が高い。

主に「事業者」を直接の取引先

経験のあったトラブルへの対処方法(単数回答)



※「トラブル①」において「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

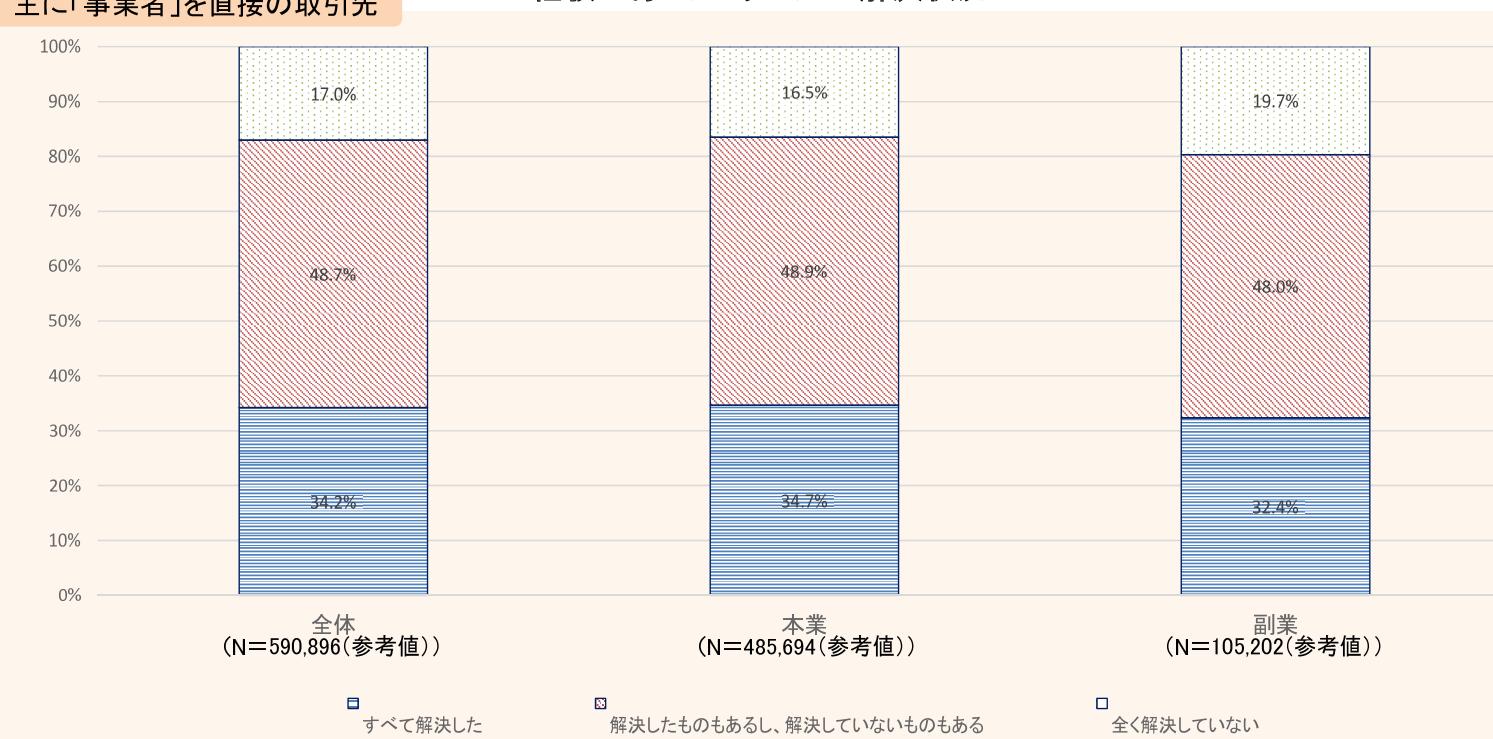
24

トラブル④

- 主に「事業者」を直接の取引先とする者について、取引先とのトラブルに対処した結果のそのトラブルの解決状況は、全体、就業形態別ともに、「解決したものもあるし、解決していないものもある」(全体: 48.7% / 本業: 48.9% / 副業: 48.0%)が約5割。

主に「事業者」を直接の取引先

経験のあったトラブルの解決状況



※「トラブル①」において「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

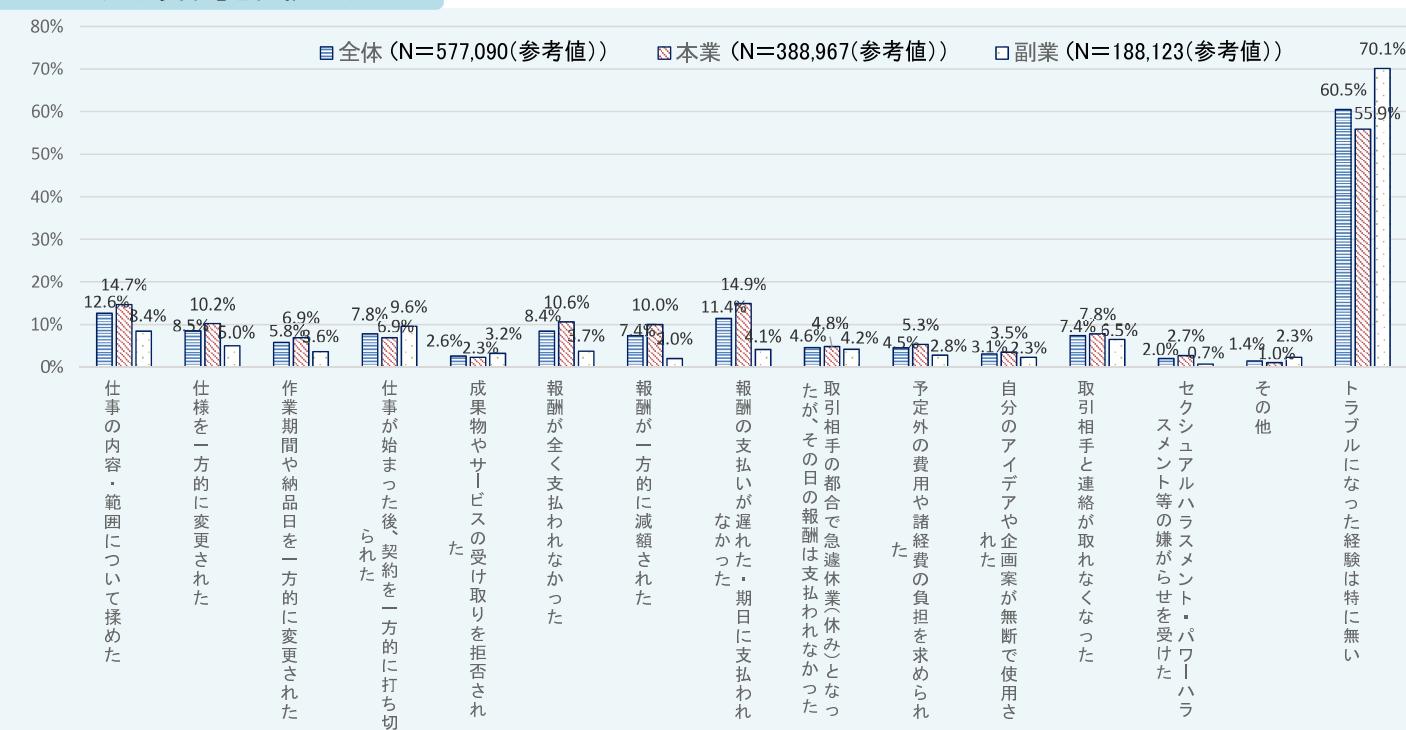
25

トラブル⑤

- 主に「一般消費者」を直接の取引先とする者の取引先とのトラブルについて、全体、就業形態別ともに、「トラブルになった経験は特に無い」(全体:60.5%／本業:55.9%／副業:70.1%)が最も高い。
- 経験したトラブル(複数回答)の中では、全体では「仕事の内容・範囲について揉めた」(12.6%)が、就業形態別では、「本業」では「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」(14.9%)が、「副業」では「仕事が始まった後、契約を一方的に打ち切られた」(9.6%)が最も高い。

主に「一般消費者」を直接の取引先

トラブルになった経験(事柄)(複数回答)



(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

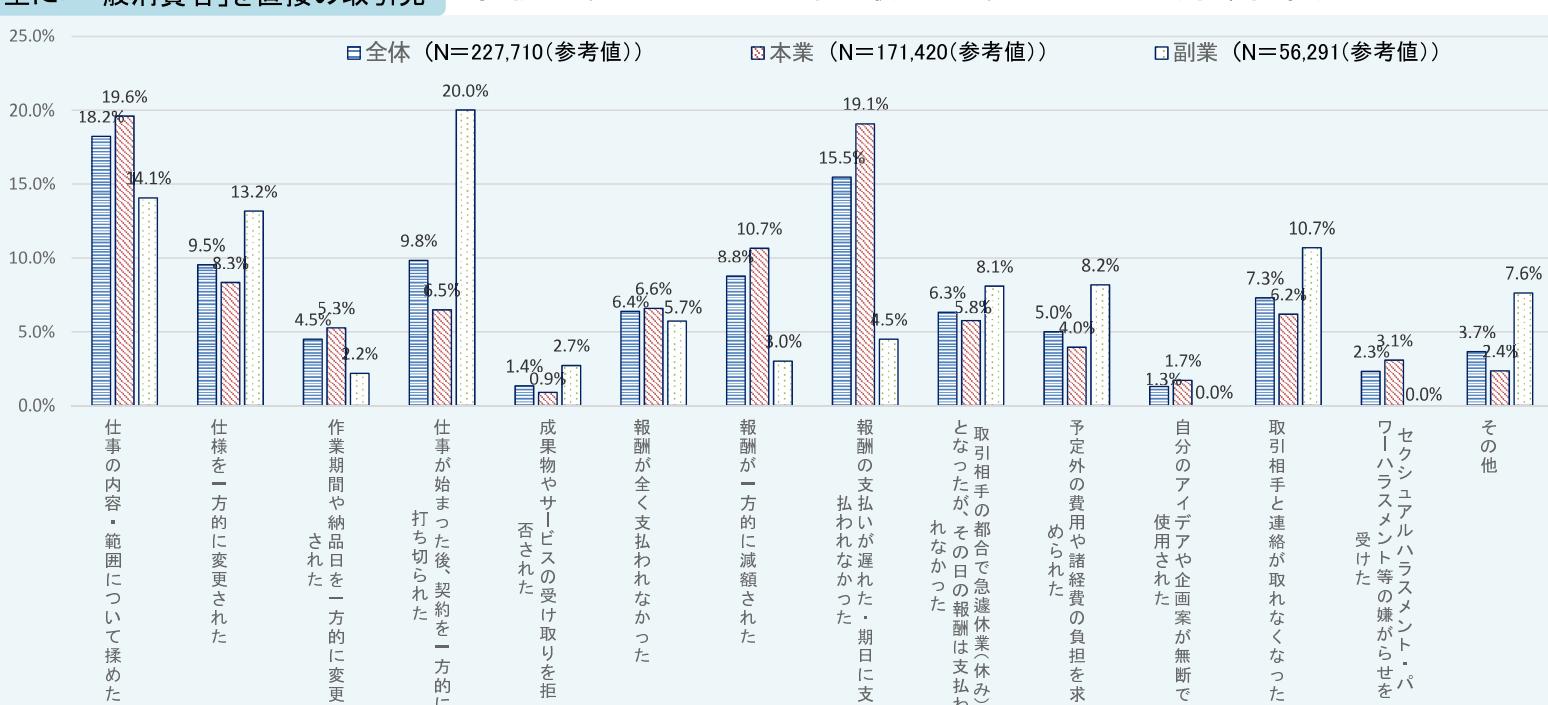
26

トラブル⑥

- 主に「一般消費者」を直接の取引先とする者のうち、トラブルを経験した者が取引先と最もよくあったトラブルについて、全体で見ると、「仕事の内容・範囲について揉めた」(18.2%)が最も高く、次いで、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかつた」(15.5%)、「仕事が始まった後、契約を一方的に打ち切られた」(9.8%)の順に割合が高い。
- 就業形態別に見ると、「本業」では「仕事の内容・範囲について揉めた」(19.6%)が、「副業」では「仕事が始まった後、契約を一方的に打ち切られた」(20.0%)が最も高い。

主に「一般消費者」を直接の取引先

経験のあったトラブルの中で最もよくあったトラブル(単数回答)



※「トラブル⑤」で「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

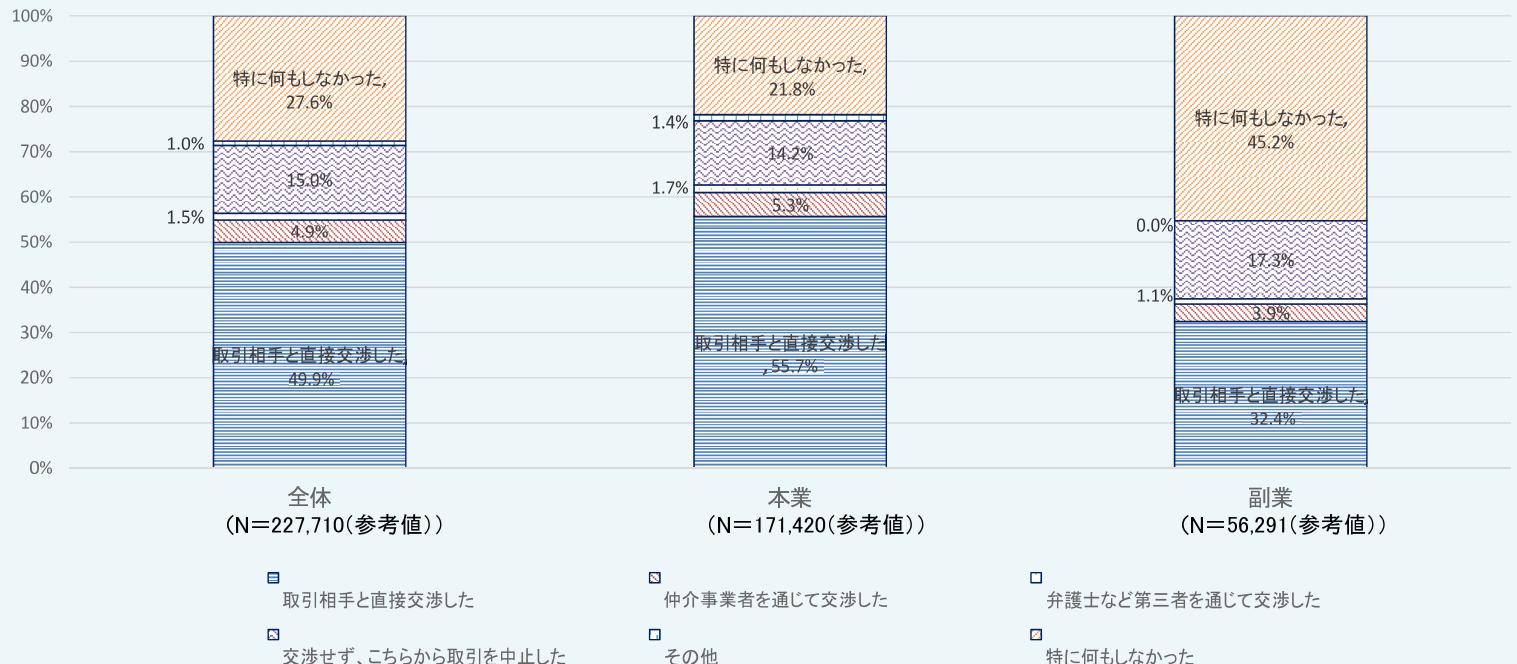
(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

27

トラブル⑦

- 主に「一般消費者」を直接の取引先とする者の取引先との間のトラブルへの対処法として最も多かったケースについて、全体で見ると、「取引相手と直接交渉した」(49.9%)が最も高く、次いで、「特に何もしなかった」(27.6%)、「交渉せず、こちらから取引を中止した」(15.0%)の順に割合が高い。
- 業務形態別に見ると、「本業」では「取引相手と直接交渉した」(55.7%)が、「副業」では「特に何もしなかった」(45.2%)が最も高い。

主に「一般消費者」を直接の取引先 経験のあったトラブルへの対処方法(単数回答)



※「トラブル⑤」において「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

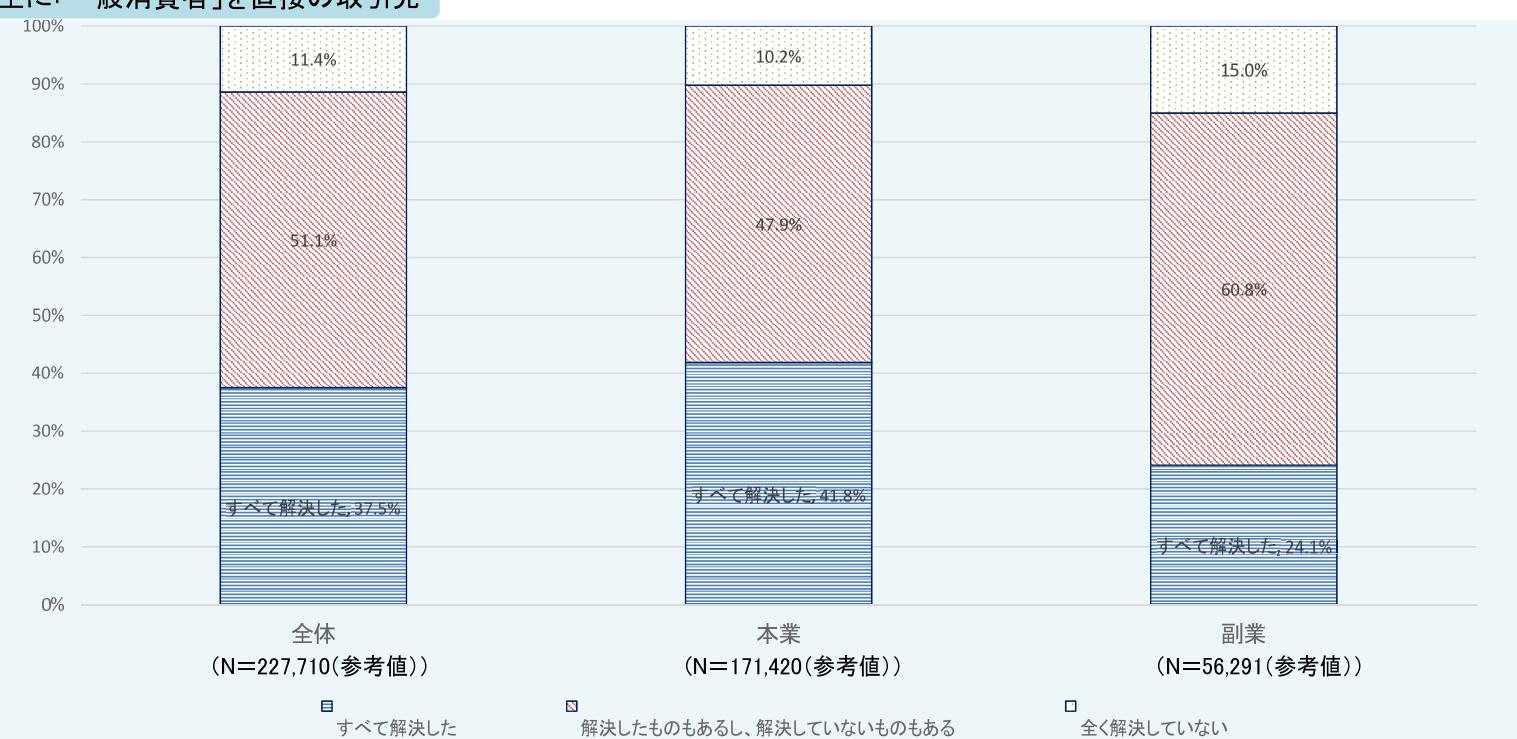
28

トラブル⑧

- 主に「一般消費者」を直接の取引先とする者について、取引先とのトラブルに対処した結果、そのトラブルの解決状況は、全体、就業形態別ともに、「解決したものもあるし、解決していないものもある」(全体:51.1%／本業:47.9%／副業:60.8%)が最も高く、特に副業では6割を超えている。

主に「一般消費者」を直接の取引先

経験のあったトラブルの解決状況



※「トラブル⑤」において「トラブルになった経験は特に無い」と回答した者を除く。

(出所)JILPT「雇用類似の働き方の者に関する調査・試算結果等(速報)」をもとに雇用環境・均等局作成

29